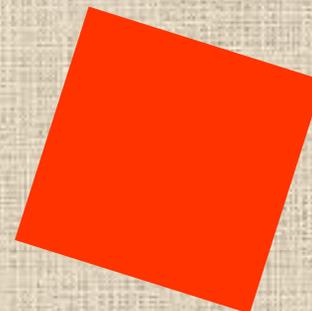
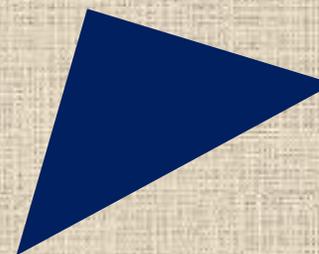
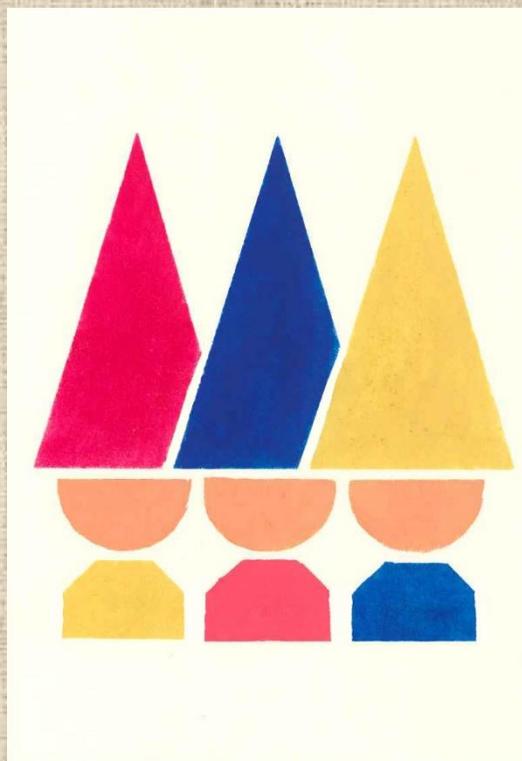
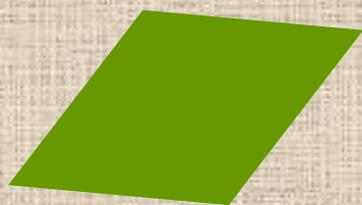




型紙を作って！使って！ 染めてみよう！

型紙を作って、染める体験をしてみませんか。
おうちにあるものを利用して簡単にできる方法をご紹介します。



体験用準備物の一例

\\ 今回は、これで作りました //

ちょっと本格的

すべて揃えるのは難しい...



他にも、牛乳パックを切って、広げたものでもOK!

筆洗には「小さな空き瓶」など

小皿代わりの「パレット」

型紙の代わりに「封筒」
※少し厚みのある紙を準備

染める紙
あまりツルツルして
いない紙、はがきetc.

毛先を短くカットした筆
または
小さく切ったスポンジを
丸めたもの

スポンジの他に写真のように、布を丸めたものや、それを割りばしにゴムで留めて使っても!

なお、摺り込み刷毛や顔彩は、絵手紙の材料を扱っている文房具屋さんや画材屋さんでも手に入ります。

準備物A (B)

1. 封筒 (型紙)
2. カッターマット
3. カッター (デザインカッター)
4. パレット (小皿)
5. 空き瓶 (筆洗)
6. 筆 (摺り込み刷毛)
7. アクリル絵の具 (顔彩・顔彩)
8. ツルツルしていないはがき (和紙)
9. マスキングテープ
10. 新聞紙

他に、マス킹テープ 新聞紙を準備

おうちになければ、段ボールや古雑誌、厚く重ねた新聞紙を準備!

カッターマット

アクリル絵の具 (顔彩より安価)

カッター
※細かな模様でなければ
デザインカッターでなくともOK

作り方 その1 型紙を作る

※型紙…少し厚めの封筒を代用。適当な大きさにカットして使用

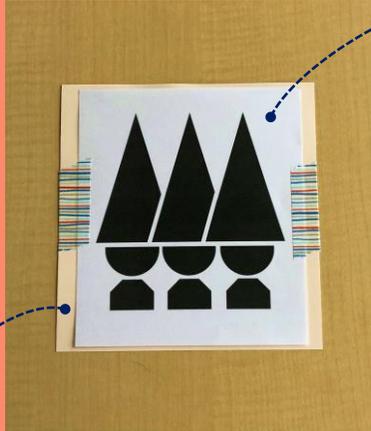
★はじめに、7ページにある「型紙見本」をダウンロードし、印刷してください。

ここでは「型紙見本」の“こびと”を使って説明するよ！

(1) 「型紙見本」から“こびと”模様を切り取り型紙(*)に重ね合わせ、ずれないようにマスキングテープで固定します。

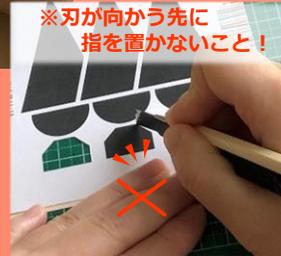
(2) カッターを鉛筆のように持ち、「型紙見本」と型紙の2枚を切り抜きます。

(3) マスキングテープを「型紙見本」からゆっくり外します。



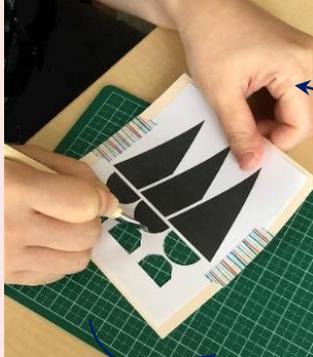
〈上〉
印刷した「型紙見本」の“こびと”

〈下〉
型紙
(※少し厚めの封筒)



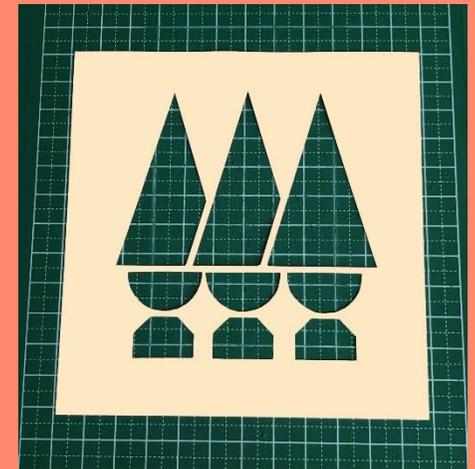
Point 1

半円などカーブをカットする時は、カッターの刃を動かすよりも紙の方をゆっくり回しながらカットするときれいに仕上がります。



Point 2

直線の場合は、定規を使用すると簡単です！



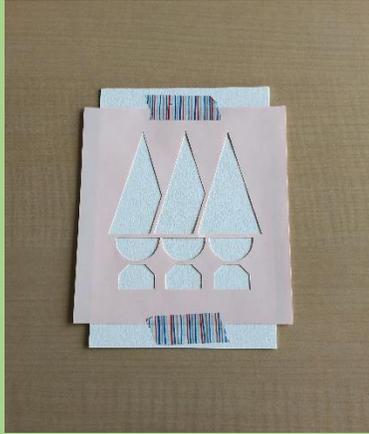
型紙の完成です

作り方その2 染める

準備物の一例にあった
スポンジや布を丸めた
ものでも

★ここでは短くカットした筆を使用。もしあれば（または購入可能であれば）、摺り込み刷毛で挑戦！

(1) 紙の上に型紙を置き、マスキングテープで留めます。



(2) 筆先を水で湿らせ、絵の具をつけたら筆をしごきます。



(3) 筆を左右前後に動かし染めます。



(4) テープをはがし、型紙を端の方からゆっくりめくり取ります。



Point 1

筆の水分量が多すぎると、型紙の端から絵の具がにじんでしまいます……



しごいても絵の具の量が多い時は、新聞紙などを使って更に絵の具を落としてみてください。



Point 2

大きい模様の場合は、面積の大きい真ん中から塗りはじめます。

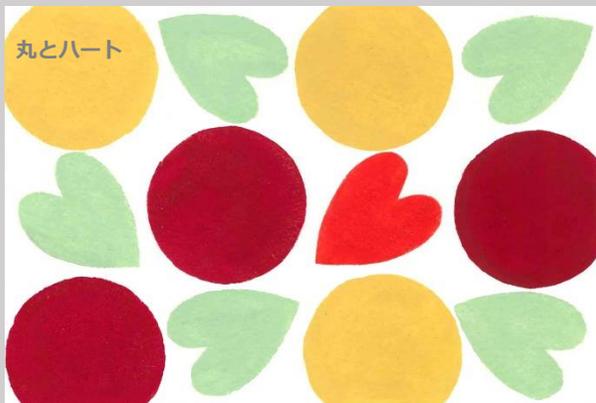


筆の水分量が少なくなってきたら、図の矢印のように型紙の端から真ん中に向かって筆を動かすと、にじまず塗れます。



「型紙見本 (7ページ)」のアレンジ例

★同じ型紙を使って複数枚を作るときは、
型紙がしっかり乾いたかを確認してから
使いましょう！



まめまめ知識

かっ ぱ ず
「合羽刷り」

今回のワークショップで紹介した染めの技法は、「合羽刷り」といいます。

あらかじめ模様を型紙に彫り抜いたら、それを和紙や布の上に置き、
す こ ば け
摺り込み刷毛を使って色を染めます。

絵の具にはがなりょう
顔料を用います。色ムラ、にじみを防ぐため、

水ではなくごじる
豆汁（水に浸した大豆をすり潰し、水を加え布で漉し

たもの）で絵の具を溶いて使用します。

型紙見本

